

《 本校の交流及び共同学習の目的 》
 同世代の児童生徒を中心に、様々な人との関わり合いや学び合いを通して、
 ①互いを尊重し合う豊かな人間性を育むと共に、地域で「ともに学び、ともに育つ」
 関係性をつくる。
 ②それぞれが個性や特性を生かして、社会の中で自分らしく主体的に生きる力を育む。

学校間交流と共同学習

和泉支援学校の各学部の取り組みを紹介します。

【小学部】
 ・あすなろ交流 ⇒ 本校の高学年と支援学級の児童で楽しい活動をする。
 ・移動動物園 ⇒ 泉大津市の小学校へ行き、本校低学年と泉大津市支援学級の児童が一緒に動物に触れ合う。
 ・池上小学校 ⇒ 同学年の児童と授業をおこない、関わり合いながら共に学習する。作品展の時期に、お互いの作品展示交流をおこなう。
 ☆昨年度は、直接的な交流はおこなわず、池上小学校と作品展交流をおこなった。

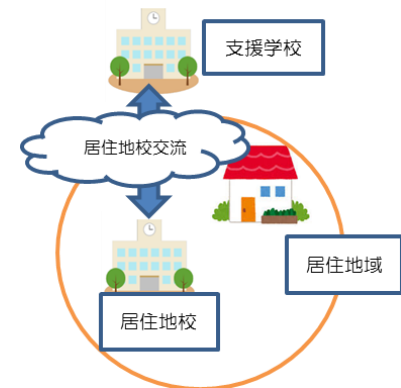
【中学部】
 ・和泉中学校 ⇒ 和泉中学校の生徒が和泉支援の授業に参加し交流をする。作品展の時期に、お互いの作品展示交流をおこなう。
 ・富秋中学校 ⇒ 校内案内やレクリエーション、教科学習などを通して、同学年の生徒と交流をする。
 ☆昨年度は、直接的な交流はおこなわず、和泉中学校とは作品展交流をおこない、富秋中学校とは、ビデオレターや ZOOM などの間接的交流をおこなった。

【高等部】
 ・登美丘高校 ⇒ 吹奏楽部と演奏交流会で交流をする。
 ・伯太高校 ⇒ 生徒会、クラブ活動生が中心となって伯太高校生徒と交流をおこなう。
 ☆昨年度は、本校の「卒業生を送る会」で、登美丘高校吹奏楽部の演奏動画で交流をおこない、本校3年生からは作業の授業で制作した手工芸品を贈り、間接的交流をおこなった。

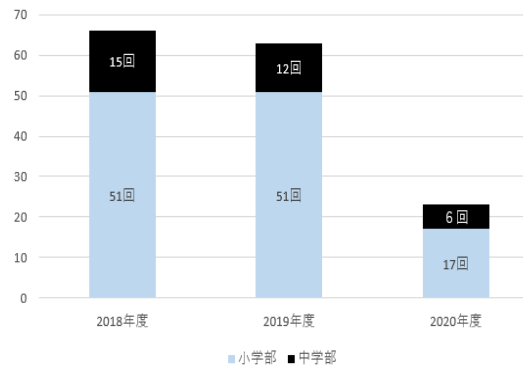
居住地校交流

支援学校の児童・生徒が自分の居住している地域の小・中学校へ行き、交流活動や共同学習をおこないます。

地域の人たちとつながり、安心して生活する基盤をつくることはすべての子どもたちにとって大切なことです。



《 和泉支援学校の居住地校交流数の推移 》



	実施人数 (人)		実施回数 (回)	
	小	中	小	中
2018年度	39	8	51	15
2019年度	34	8	51	12
2020年度	18	11	17	6

居住地校交流の実施については、希望アンケートをもとに相手校と回数や内容を相談・調整しておこないます。学校間の連携や交流内容のよりいっそうの充実をめざしています。

【 今後の予定 】
【小】 各学年で池上小学校との交流及び共同学習をおこないます。
【中】 富秋中学校、和泉中学校との交流及び共同学習が始まります。
【高】 登美丘高校、伯太高校と交流及び共同学習をおこないます。
【全校】 泉北ブロック公開研修会
 ・7月20日(火) 15時～17時「タブレット端末を活用した取り組みについて(仮)」
 ・12月24日(金) 15時～17時「自立活動の具体的実践について(仮)」

問い合わせ先:和泉支援学校 藤川聡 0725-45-9555